

年 代	5 0 代
主な活動拠点	阪神北
団体名	ふれあいうどん同好会
氏名	うりぼう
連絡先	TEL
	FAX
	E-mail
活動の内容	<p>猪名川町内に拠点を置き、手打ちうどんづくりを通して会員相互の親睦と交流をはかっています。また、手作りのうどんをそれぞれの近所や友人・知人に配り食べてもらうことによって生まれるふれあいが、お互いの顔の見える安全・安心なまちづくりや地域コミュニティの再生・強化につながると思って活動しています。</p> <p>具体的には、うどんづくりの研修のほか、ボランティアで市町などの行事に参加し、多くの人々とふれあっています。</p>
活動のきっかけ	<p>うどん作りの講習会を機会に、讃岐出身で、阪神淡路大震災の折に避難所で「ふれあいうどん」活動を始められた宮川先生の指導を上級まで受けた者たちが、「ふれあいうどん」活動の趣旨に賛同して同好会を立ち上げました。</p>
活動の頻度	<p>現在は月1回、第3水曜日に個人宅の離れで研修会をしています。ボランティア活動は不定期におこなっています。</p>
活動してよかったこと、困ったこと	<p>居住地だけでなく、広い範囲の人々と交流をはかれたこと。年1回実施する現地研修「讃岐うどん食べ歩き」のバス旅行は、日頃のストレスなどが吹き飛ばす楽しさです。</p> <p>会員の誰に聞いても「困ったことはない」と返事が返ってきます。</p>
思い出に残るエピソード	<p>宮川先生が某TV局の「人生の楽園」に出演された時には、北海道から九州までの方々が泊りがけで講習会に来られびっくりしました。</p> <p>また、豊岡の大水害の折には、うどん作りの道具一式を積み込んで駆けつけ、被災者のみなさんに喜んで頂けたことが心に残っています。</p> <p>平成17年の8月に、猪名川町で「全国川サミット」が行われ、ボランティアでうどんを振る舞いましたが、900食余りを作るのは本当に大変でした。</p>

活動を始めたい人へのアドバイス	まず、身の回りにあることから、自分が興味を持って、楽しいと感じることから始めてください。それが長続きするコツです。たとえ最初は自分一人でも、すぐに活動の輪は広がっていきます。
-----------------	---